SHO-BOND
SHO-BOND GROUP

ストラブ・グリップ FXTタイプ

鋼管+工業用ホース接続用【呼び径50～200】

取　扱　説　明　書

取付け作業を行う前に、必ず『**安全上のご注意**』をお読みのうえ、『**施工手順書**』に従って、正しくご使用下さい。
なお、ご不明な点がございましたら当社ホームページまたは、下記の営業所にお問い合わせ下さい。

■**東京営業所**:〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町7-8
TEL.03-6861-7411(代表) FAX.03-6861-7421

■**大阪営業所**:〒536-0022 大阪市城東区永田3-12-15
TEL.06-6965-7235(代表) FAX.06-6965-7236

■**HPアドレス**:http://www.sb-coupling.co.jp/

安全上のご注意【必ずお守り下さい】

この取扱説明書では、製品を安全に正しくご使用いただき、人的危害や財産への損害を防止するため、遵守いただきたい事項を記載しております。

■絵記号の意味

⚠ **注意**	注意（危険・警告を含む）を促す事項
⃠ **禁止**	決しておこなってはいけない禁止事項
❗ **強制**	必ずおこなっていただく強制事項

⚠ 警告

記載事項を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

❗ **強制**	本体は構造上、鋭利な箇所がありますので必ず、作業用手袋等の保護具を着用し作業を行って下さい。
⃠ **禁止**	製品を取り外す際、配管内の圧力が完全にゼロまで下がっていない場合は、絶対にボルトを緩めないで下さい。
❗ **強制**	流体が本製品の適用範囲内であることを確認して下さい。（流体温度：-10～50℃）
❗ **強制**	使用圧力が適用範囲内であることを確認して下さい。
⃠ **禁止**	使用者は構成部品の組ばらしを当社の許可無く行わないで下さい。

⚠ 注意

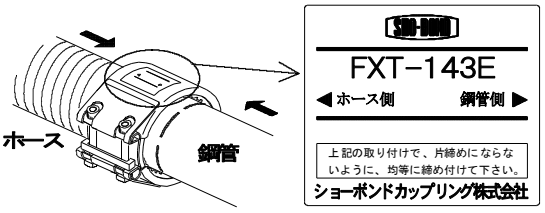
記載事項を無視して、誤った取扱いをすると人が傷害を負ったり、物的損害が発生する可能性があります。

⃠ **禁止**	直射日光の当たる場所やほこりが多い場所、および振動が激しい場所には、保管・放置しないで下さい。
❗ **強制**	配管内の流体が凍結する恐れのある寒冷地域で使用する場合は保温や循環または水抜き等の適切な処置を行って下さい。
⚠ **注意**	本製品では管の熱伸縮は吸収できません。管の熱伸縮が想定される場合は、別途伸縮継手等を配置して下さい。
⚠ **注意**	腐食環境で使用する場合は、状況に応じて防食処置や定期的な確認を行って下さい。
❗ **強制**	地震や水撃等の外力によって本製品に過度な曲げモーメントが作用する恐れのがある場合は、配管が許容値以上に曲がらないように強固な固定を施して下さい。
⚠ **注意**	締め付け工具に電動のインパクトドライバーを使用する際はボルトの焼き付きに十分ご注意下さい。ボルトにグリスを塗布し、さらに回転速度を下げたり、片締めを控えることで防止できます。
⃠ **禁止**	本製品は一度使用した後に、取り外して他の配管に転用することは(使い回し)できません。ただし、設備稼働前の取り付け調整や試験施工後の取り付け直しは可能です。
⚠ **注意**	正しく施工できていなかった等で施工のやり直しをする際は必ず手で回せるくらいまでボルトを緩めて下さい。無理にカップリングを回転させたり、グリップリングが喰い込んだまま取り外そうとすると、管や製品にダメージを与えてしまう場合があります

⚠ 注意

記載事項を無視して、誤った取扱いをすると人が傷害を負ったり、物的損害が発生する可能性があります。

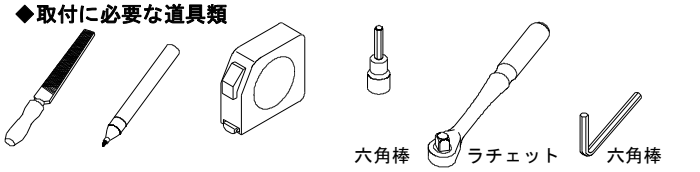
⚠ **注意**	締め付けの初期段階で片締めを行うと、もう一方のボルトが空回りする場合があります。この場合は空回りする方のナットを下方から押し上げながら締め付けて下さい。
⃠ **禁止**	下記の工業用ホース以外で使用しないで下さい。 ・東拓工業(株)　/ﾍﾗﾝﾄｰﾒｲ、SD-Cｱｰｽ ・ﾀｲｶﾞｰｽﾎﾟﾘﾏｰ(株)　/ｸﾘｽﾀﾙﾎｰｽ耐摩E型 ・ｶﾅﾌﾚｯｸｽｺｰﾎﾟﾚｰｼｮﾝ(株)/V.S.-C型耐摩耗用ｱｰｽ線入り V.S.-C型ｱｰｽ線入り
❗ **強制**	本製品はパイプの差し込み側が決まっております。必ず表示ラベルを参照し、正しい種類のパイプを差し込んで下さい。



施 工 手 順 書

1 作業前の準備

◆取付に必要な道具類



ヤスリ　マジックペン　コンベックス　ソケット　レンチ　レンチ(L形)

◆管の清掃

・切断時のバリや汚れを取り除きます。
・キズ等の凹凸はヤスリ等で滑らかにします。

2 マーキング作業、アース線の処理

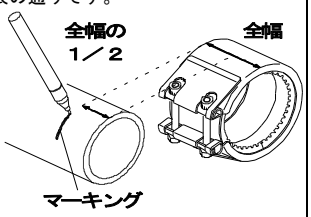
◆マーキング作業

・管にマーキングをし、継手の取付位置を決めます。
・カップリングの全幅の１／２を差込み寸法として管の端部から測りマジック等でマーキングします。

※端部からマーキング位置までの寸法は下表の通りです。

呼び径	型式	寸法
50	FXT-64E	39mm
65	FXT-77E	48mm
75	FX-90E	48mm
100	FX-117E	48mm
125	FXT-143E	55mm
150	FXT-171E	55mm
200	FXT-226E	71mm

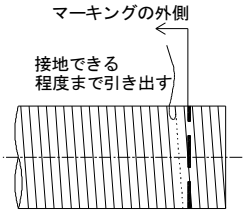
※呼び75,100はFXタイプと共通化しております。



◆アース線の処理

・ホースのアース線は、マーキングより外側で引き出して下さい。

※アース線は切れやすいので、カッターナイフ等で浅めの切れ目を入れると引き出せます。
※マーキングの内側から引き出さないで下さい。
※接地できる程度まで引き出して下さい。

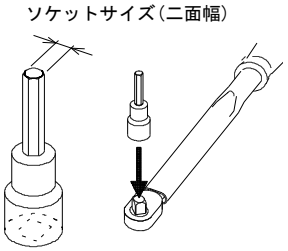


3 ラチェットレンチのセット

◆六角ソケットの取付

・ソケットサイズは呼び径によって異なります。

呼び径	型式	ｿｹｯﾄｻｲｽﾞ
50	FXT-64E	6
65	FXT-77E	6
75	FX-90E	6
100	FX-117E	6
125	FXT-143E	8
150	FXT-171E	8
200	FXT-226E	14



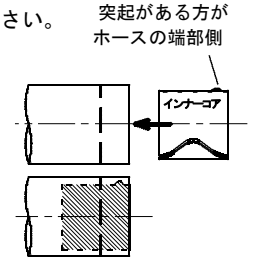
4 インナーコアの挿入(呼び径50／65のみ)

◆インナーコアの挿入

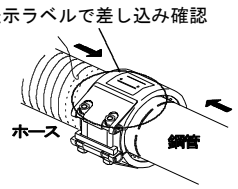
・付属のインナーコアをホースに挿入して下さい。
・ホース側にコアの挿入が必要です。

※呼び径50、65のみが対象です。
その他のサイズについては、通常の場合、挿入する必要はありません。

※インナーコアには向きがありますので、注意して下さい。



5 カップリングの配置

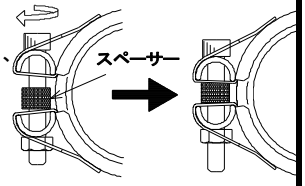


① 左右両側から管を差し込み、マーキングした位置にカップリング側面を合わせて下さい。
※ボルトを緩める必要はありません。

◆配置時の注意

本製品は差し込み側が決まっております。
必ず表示ラベルを参照し、正しい種類のパイプを差し込んで下さい。

6 ボルトの締付け

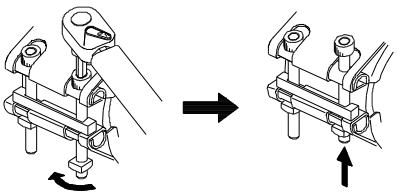


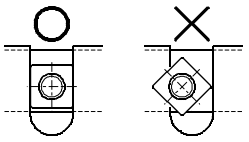
① 片側のボルトを3回転程度締め付けたら、もう一方のボルトに移り、同様に締め付けます。この作業を繰り返します。
② ケーシング端部がスペーサーに接触し、且つ平行になれば、作業完了です。

※スペーサーの個数は型式で異なります。
※現品の形状が挿絵と異なる場合があります。

◆締め付けの際の注意

・ボルトの片締めを行うと、もう一方のボルトが空回りする場合があります。（ナットが本体の切欠き部から外れるため）
・空回りする側のナットを下方から押し上げながら締め付けて下さい。



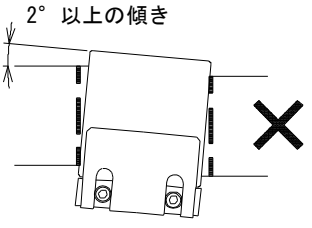


⚠ ナットを正しくはめこんで下さい。

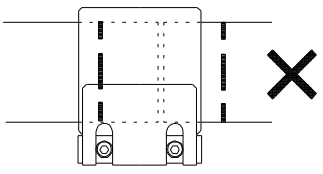
7 施工の確認

◆取付位置の確認

・下図のような場合は一度取外して、取り付け直して下さい。



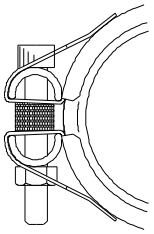
【カップリングの傾き】



【取付け位置のズレ】

◆締付けの確認

・本体がスペーサーに接触していることを確認して下さい。接触していない場合は、レンチで接触するまで締め付けて下さい。



⚠ カップリングが正しく施工されていないと事故の原因になる場合があります。

8 アース線の接続

◆アース線の接続

・引き出しておいたアース線は、接地させて下さい。

※接地が不要の場合は、行う必要はありません。